



2017年6月23日

アウディ ジャパン株式会社  
プレス問い合わせ 03-5475-6309  
<https://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ 0120-598106  
アウディ コミュニケーションセンター

## 新型 Audi A8 に関する先行情報：

### フルアクティブサスペンションにより幅広いニーズに対応

- フルアクティブサスペンションで実現する最高水準の乗り心地とハンドリング性能
- 48V 主電源システムがエレクトロメカニカル サスペンションに電力を供給
- ダイナミック 4 輪操舵システムにより敏捷性と安定性を両立
- 世界初：側面衝突時にボディを持ち上げる機構によりパッシブセーフティを大幅に改善

2017年6月22日、インゴルシュタット：新型 Audi A8 は、乗員の幅広いニーズに応えるラグジュアリーセダンとなります。アクティブサスペンションを採用した新型 Audi A8 は、快適性重視のお客様にとって、ショーファードリブンの大型セダンに相応しい、非常にスムーズな乗り心地を提供します。その一方で、運転好きのオーナードライバーはスポーツカーのようなダイナミックなドライビング性能を満喫することができます。この優れた柔軟性は、今回初めて車両の主電源に採用された 48 ボルトシステムをベースとした、新開発のアクティブサスペンションによって実現されます。新型 Audi A8 は、7月11日にバルセロナで開催される「アウディサミット」で、ワールドデビューを飾る予定です。

新型 Audi A8 のために今回新しく開発されたアクティブサスペンションは、完全アクティブ制御のエレクトロメカニカル サスペンションシステムで、個々のホイールを独立制御して、道路の状況に的確に対応します。各ホイールには、48 ボルトの主電源システムにより駆動される電気モーターが備わっています。それらのモーターには、複数のギヤ、チタン製トーションバーを内蔵したロータリーチューブ、カップリングロッドを介してサスペンションに 1,100Nm の力を加えるレバーなどが組み合わされています。

フロントカメラからのデータをもとに、システムは道路の前方にある凹凸を検知して、事前にアクティブサスペンションを調整します。アウディが開発したプレビュー機能により、クルマがその凹凸に到達する前にアクチュエーターに適切なストローク幅を伝えて、積極的にサスペンションを制御します。サスペンションが適切なタイミングで事前に対応することにより、事実上完璧に揺れや振動を解消することができます。この複雑なプロセスに要する時間は、わずか千分の数秒に過ぎません。カメラからは路面情報が 1 秒間に 18 回も送信されています。エレクトロニック シャシープラットフォーム (ECP) が路面情報を分析処理して、ほぼリアルタイムで、すべてのサスペンションコンポーネントを正確にコントロールします。新型 Audi A8 用に最適なチューンが施されたエアサスペンションとこの革新的なサスペンションコンセプトの組み合わせにより、まったく新しいドライビング体験が実現しています。新型 Audi A8 は、非常に優れた乗り心地を提供する一方で、スポーティな走りを好むドライバーの要求にも応えるラグジュアリーセダンに仕上がっています。

アクティブサスペンションの目に見える効果としては、例えば、コーナリング中のロールや、制動および加速時のピッチングが徹底して抑え込まれています。新型 Audi A8 をスポーティに走らせても、ドライバーは車両を完璧にコントロール下に置くことができ、リヤシートの乗員も仕事を邪魔されることはありません。

また、ダイナミックステアリングと後輪ステアリングを組み合わせた革新的コンセプトであるダイナミック オールホイールステアリング（4 輪操舵）により、敏捷性と安定性という、相反する目標も同時に達成しています。ステアリング特性はスポーティかつダイレクトであり、その一方で、高いレベルの操縦安定性も確保されています。ステアリングフィールも、快適性重視からフィードバックを高めた設定まで、幅広い調整が可能です。回転半径は Audi A4 の数値よりも小さくなっています。

さらに、オーディプレセンス 360°、セーフティシステムとの組み合わせで、新型 Audi A8 のアクティブサスペンションは、パッシブセーフティもまったく新しいレベルに引き上げました。セントラル ドライバーアシスタンス コントローラー (zFAS) にネットワークされた多数のセンサーの働きにより、システムは衝突の可能性をいち早く検知します。25km/h 以上での側面衝突が避けられないと判断された場合には、サスペンションのアクチュエーターを稼働させて、0.5 秒以内に衝撃を受ける側のボディを最大 80mm 持ち上げます。その結果、サイドシルやフロアの構造体など、車体のより強度の高い部分で衝突の衝撃を受けられるようになります。それにより、ボディを持ち上げない場合と比べて、乗員にかかる衝撃の負荷を最大 50% 低減させることができます。

\*本リリースは、ヨーロッパ仕様に基づく AUDI AG 配信資料の翻訳版です。